

# 米子市男女共同参画推進計画施策の実施状況一覧

(平成27年度分)

米子市市民人権部男女共同参画推進課

## 米子市男女共同参画推進計画施策の実施状況の評価について

評価の方法は、下記の計画の評価基準を基に評価しています。

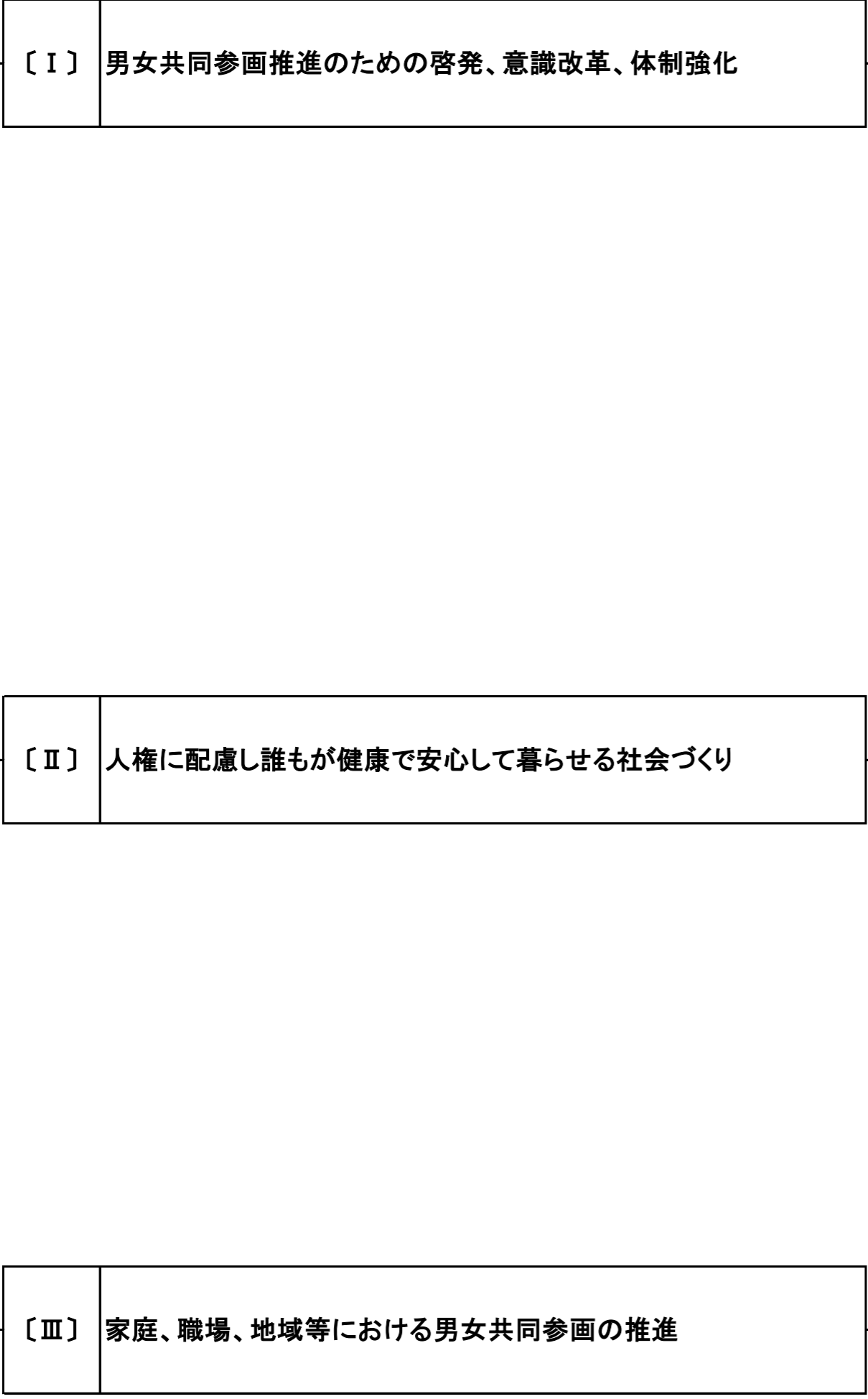
### 計画の評価基準

評 価	内 容	判 断 基 準	平成27年度集計
A	計画通り事業が実施でき、十分に成果があった	計画の記載の内容のとおり、もしくはそれ以上の施策が実施でき、計画に記載されている目標を達成し、男女共同参画推進の効果が十分期待できる。	4 1
B	ある程度の事業が実施でき、一応の成果があった	全てではないが施策が実施されかつ、計画に記載されている目標がある程度達成され、男女共同参画推進の効果が期待できる。	3 3
C	十分な事業が実施できず、あまり成果がなかった	何らかの施策が実施されているが、計画に記載されている目標は達成せず、男女共同参画推進の効果が期待できるとはいえない。	2
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未実施</li> <li>・ 実施困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施できなかった。</li> <li>・ 法的、政策的、財政的な理由等で実施が困難である。</li> </ul>	0

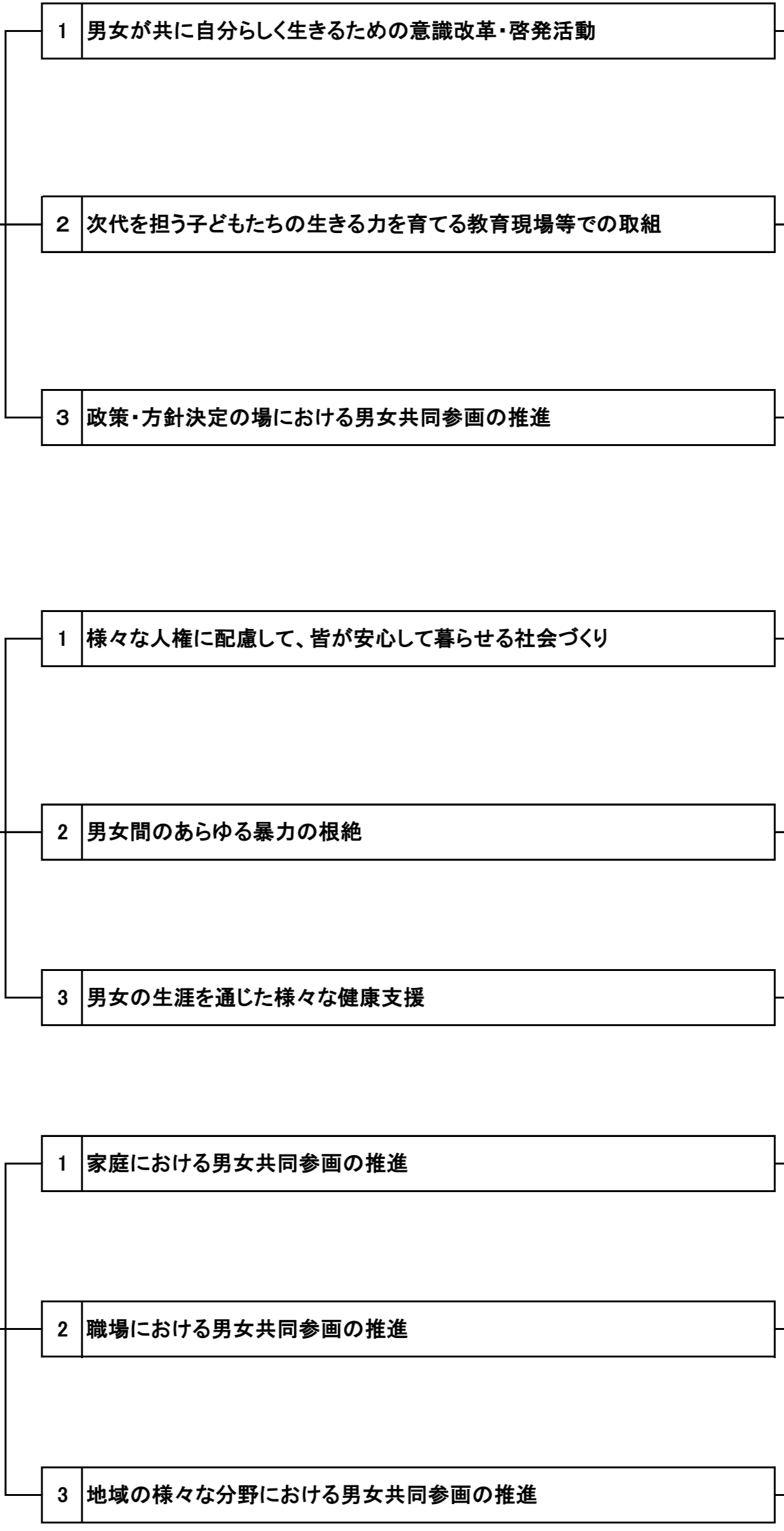
# 第2次米子市男女共同参画推進計画体系

男女の人権が尊重される社会の実現を目指して

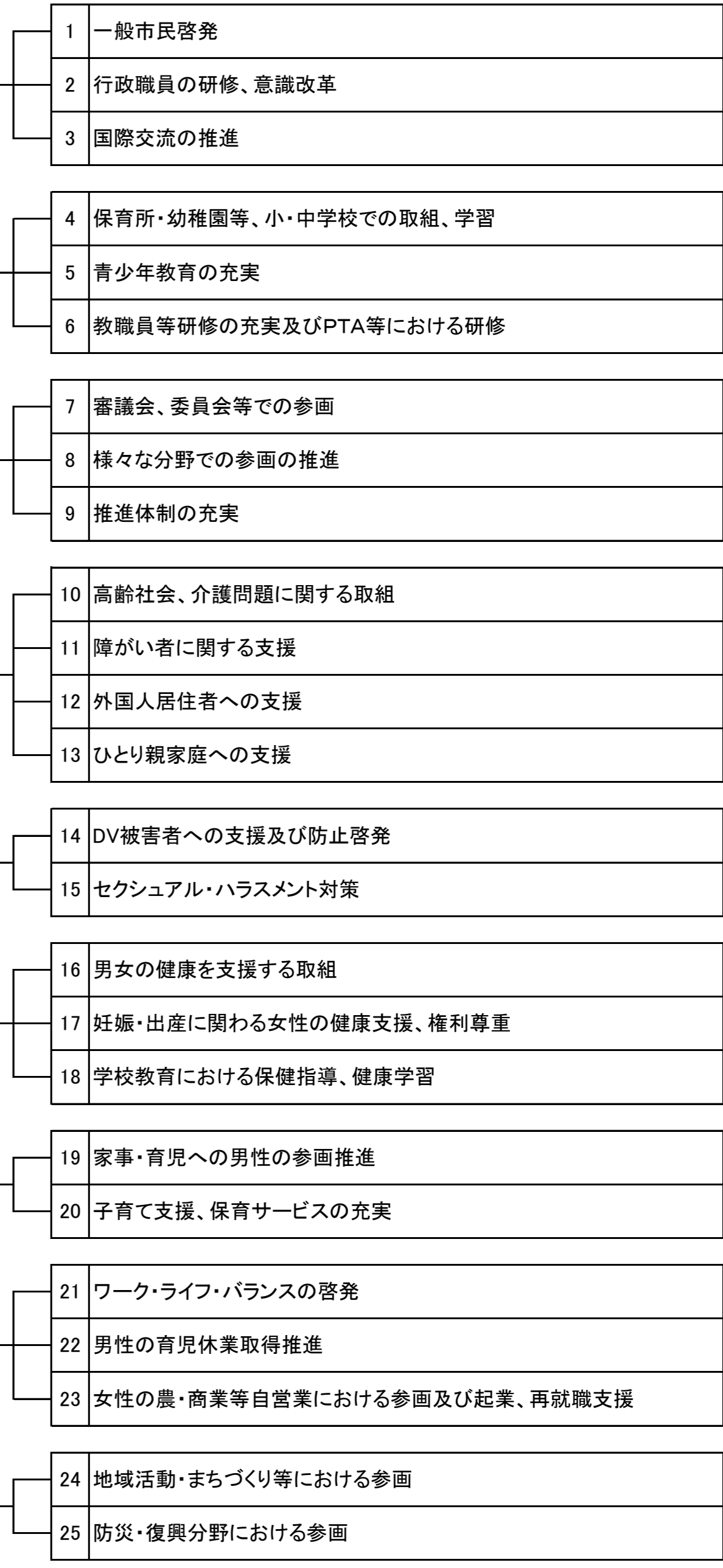
## 【基本テーマ】



## 【重点目標】



## 【基本施策】



基本テーマⅠ 男女共同参画推進のための啓発、意識改革、体制強化

重点目標1 男女が共に自分らしく生きるための意識改革・啓発活動

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
1	一般市民啓発	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○米子市男女共同参画センターにおいて、各種講演会、講座等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画に関する講演会「しゃべって未来や」(5回) <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回(H27.5.30) 親が居心地よく暮らせる家！ ～親の心をつかむ片付け術～ 講師 多々納利江氏(整理収納アドバイザー) 参加人数 48人</li> <li>第2回(H27.7.27) 米子を元気にしたい がんばる女性起業家 ～自分流で働きたい人のための仕事術～ 講師 杉田真理子氏(株式会社スカイ代表) 参加人数 31人</li> <li>第3回(H27.8.22) Let's Enjoy 子育て ～ママもハッピー！何でもこなすマルチパパ～ 講師 杉田貴彦氏(COLTEO Corporation代表) 参加人数 25人</li> <li>第4回(H27.10.20) 定年GO!! 充実したセカンドライフに向けて ～定年後の生命保険との付き合い方～ 講師 星 秋悟氏(公益財団法人生命保険文化センター) 参加人数 24人</li> <li>第5回(H27.11.26) 「女性活躍推進」(ポジティブ・アクション) ～女性が輝く未来とは～ 講師 宮越泰子氏((一財)女性労働協会 女性就業支援専門員) 参加人数 18人</li> </ul> </li> <li>・女性のパワーアップ講座(3回)(基本施策8で詳しく掲載) 合計参加延べ人数 120人</li> </ul> <p>○男女共同参画週間においてかぶりあシネマの集い(映画上映会)を開催した。 上映作品 「アントキノイノチ」 場 所 米子市文化ホール 参加人数 150人</p> <p>○米子市男女共同参画センターに、男女共同参画の啓発誌等を配置することにより、情報提供を行った。</p> <p>○米子市男女共同参画センター利用登録団体(105団体)を中心に、団体活動紹介や団体間の交流を図る「かぶりあ祭」を開催した。 合計参加延べ人数 600人</p> <p>○男女共同参画に関する標語・絵てがみを一般市民に対して募集を行い、多くの応募があった。全作品を市報やごみ分別収集カレンダーに掲載するとともに、米子市男女共同参画センターに掲示した。 応募総数 181作品</p>	A	<p>各種講演会、イベント等を開催することにより、地域や社会に広く男女共同参画の啓発を行うことができた。</p> <p>また、講演会や講座等の参加者からは満足した、有意義だったという感想が多かった。</p> <p>標語等については、一般市民等に対して男女共同参画の意識を喚起することができた。</p> <p>また、標語等をごみ分別収集カレンダーに掲載することにより、家庭での日常的な啓発を行うことができた。</p>

基本テーマⅠ 男女共同参画推進のための啓発、意識改革、体制強化

重点目標1 男女が共に自分らしく生きるための意識改革・啓発活動

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
1	一般市民啓発	<p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取県や他団体主催の研修会等に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県男女共同参画センターよりん彩 学びのサロン 「2015 男女共同参画の明日を拓く 活動発表会」など</li> <li>・日本女性会議2015 倉敷 思いやり 男女が集う 白壁のまち ～ライブステージとそれぞれの男女共同参画～</li> <li>・レディース中央会全国フォーラム in しまね イクボス推進による人材力生産性の向上 他</li> </ul> </li> </ul> <p>【人権政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権啓発誌「ひゅーまんらいつ」による啓発5回</li> <li>○人権教育地域懇談会を実施した37自治会で、地元住民が男女共同参画について話しあいを行なった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度開催 19回／全90回</li> <li>参加者 394人／全2,500人</li> </ul> </li> <li>○平成27年8月の市報に男女共同参画に関する啓発文を掲載した。</li> <li>○米子市人権・同和教育研究会で、記念講演を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ「地域で1人ひとりが活躍できるダイバーシティ、ワークライフバランス」</li> <li>講師 渥美由喜 氏 (株東レ経営研究所部長兼主席コンサルタント)</li> </ul> </li> </ul> <p>【生涯学習課】</p> <p>米子人生大学や公民館での社会教育講座(公民館大学等)を実施した。公民館での社会教育講座については、人権問題と子育て等家庭教育は必須課題とし、男女共同参画の視点も盛り込むよう指導している。</p> <p>※男女共同参画の視点の盛り込み状況 公民館での社会教育講座(公民館大学等) 2講座</p>	A	鳥取県や他団体が主催する研修会等に参加することにより、男女共同参画について幅広く学習することができた。
2	行政職員の研修、意識改革	<p>【職員課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員対象の人権問題研修を実施し、行政と人権とのかかわりを理解し、あらゆる施策に人権を尊重し擁護するという視点に立った職務の遂行ができる職員を育成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>研修実績 受講者数 583名</li> <li>内 容 隣保館の成立過程と現在の活動 DV～二次被害を防ぐために～</li> </ul> </li> <li>○人権行政推進者養成講座を実施し、自らが人権行政の担い手であることを自覚し、職場における指導的立場として主体的に取り組んでいく力をもつ職員を育成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>研修実績 受講者数 17名</li> </ul> </li> </ul> <p>【人権政策課】</p> <p>新任課長を対象に、人権教育地域懇談会の助言者として必要な知識などについて理解を深めることを目的として助言者養成講座を開催した。</p> <p>対象者11名</p>	B	人権問題研修については、毎年全職員が必ず受講することにしており、幅広い人権問題について計画的、体系的な研修を実施している。平成27年度はテーマが「同和対策(隣保館について)」、「DVについて」であった。
			A	計画どおり実施し、助言者の人材育成を図った。

基本テーマⅠ 男女共同参画推進のための啓発、意識改革、体制強化

重点目標1 男女が共に自分らしく生きるための意識改革・啓発活動

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
3 国際交流の推進	<p>○学校の授業において、外国の生活・文化等に親しむ機会を持つ</p> <p>○小・中学校や公民館等で国際理解講座を開催する</p> <p>○市民向け外国語講座を開催する</p> <p>○友好都市・姉妹都市との交流事業を推進する</p> <p>○国際交流に関する講座・イベントの開催、および他団体等主催の国際交流イベント等の紹介、情報提供等を行う</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>○年間計画に基づき、国際理解に関わる学習や、直接外国人・外国文化に触れる体験を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習を中心とした国際理解に関する学習/24校(小22校、中2校)</li> <li>・外国人によるゲストティーチャー(外部講師)の協力/21校</li> <li>・在日コリアンに関する学習/25校</li> </ul>	A	<p>多くの学校が国際理解に関わる学習を取り入れている。また、ゲストティーチャーを招くことで、実際に外国人や外国の文化に触れる機会を設けるとともに、地域の人材を活用している学校も増えてきている。</p>
		<p>【市民自治推進課】</p> <p>○国際交流体験事業</p> <p>子どもたちをはじめ幅広い市民が外国青年との交流を通じて、外国の文化、生活、考え方などにふれ、国際的な視野を広げる目的で米子市、公益財団法人鳥取県国際交流財団、よなご国際交流フェスティバル実行委員会の主催、ハローほうき国際交流連絡会の協力にて開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よなご国際交流フェスティバル 来場者数 約1,200人</li> </ul> <p>○国際交流員を保育園、小・中学校、公民館、各種団体に派遣して、国際理解講座等を実施した。</p> <p>中国/ 25回 韓国/ 47回</p> <p>○外国語講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け中国語講座 25回 68人</li> <li>・市民向け韓国語講座 24回 80人</li> </ul>	B	<p>国際感覚を持った人材の育成に寄与しており、国際交流における男女共同参画の推進の一助として継続したい。</p> <p>また、違う国の言語、文化、生活様式等を紹介することで市民の興味を喚起し、国際交流の推進が期待できる。</p>
		<p>【生涯学習課】</p> <p>公民館大学等、公民館での社会教育講座において、国際交流、国際理解をテーマとした講座を開催した。</p> <p>12講座</p>	B	<p>公民館の社会教育講座では12館が実施しており、住民の関心の高さがうかがえる。関心が高い講座の更なる充実を図りたい。</p>
		<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○米子市男女共同参画センター登録団体の「ヒッポファミリークラブ」が多くの外国語にふれながらセンターを活用して活動しており、同時に団体活動内容を紹介するパネル展示も行った。</p> <p>○平成27年9月21日に開催された「よなご国際交流フェスティバル」の開催案内チラシ等を米子市男女共同参画センターに配置して情報提供を行った。</p>	B	<p>国際交流を目的としているセンター登録団体の活動等や他団体主催のイベントなど、国際交流に関する情報提供を行うことができた。</p>

基本テーマⅠ 男女共同参画推進のための啓発、意識改革、体制強化

重点目標2 次代を担う子どもたちの生きる力を育てる教育現場等での取組

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
4	<p>保育所・幼稚園等、小・中学校での取組、学習</p>	<p>【学校教育課】 ○「米子市人権教育推進プラン」に沿って男女共同参画の推進を図り、年間指導計画に基づいた学習を実施している。 ・男女共生に関する学習の実施 35校全校 ・性別による固定観念を見直す学習/31校(小24校、中7校) 学級活動の時間等に、人権教育学校用地元教材「あおぞら」を活用 ・家庭科教育の充実 小学校5、6年の男女とも家庭科を履修 中学校1～3年の男女とも技術家庭科を履修 ・中学生職場体験学習における保育所、幼稚園での保育実習/11校</p> <p>【こども未来課】 ○男女混合名簿100%実施済 ○男女の序列、区分をなくした保育の実施</p>	A	<p>多くの学校で男女共生教育や男女共同参画についての学習を取り入れており、学校における取組みは進んでいる。</p> <p>目標を達成し、男女混合名簿・男女序列、区分をなくした保育を実施しており男女共同参画推進の効果が期待できる。</p>
5	<p>青少年教育の充実</p>	<p>【生涯学習課】 ○青少年の健全育成のために、関係機関と連携しながら、少年育成センターや青少年育成米子市民会議の活動の充実を図る ○子ども会の活動や世代間の交流等を支援する ○新成人を中心に実行委員会を組織し、男女が共に成人式の企画・運営を行う また政治参加意識を高めるため、成人式参加者に選挙に関するリーフレットを配布する ○「社会を明るくする運動」で少年育成スポーツ大会を開催する</p> <p>【生涯学習課】 ○少年育成センターでは、街頭指導や青色パトロール車等による巡回活動、広報よなご等による広報啓発等により青少年の非行や被害の防止を図った。また、青少年育成米子市民会議については、生涯学習課で事務局を担い、子どもの健全育成に関する広報・啓発等への支援を行った。 ○子ども会やジュニアリーダーズクラブの活動に対し、指導・助言、連絡調整などの支援を行い、子ども会活動や世代間の交流を促進して子どもの健全育成を図った。 ○成人式では、新成人を中心とする成人式実行委員会を組織し、企画・運営を行った。また、政治参加意識を高めるため、選挙に関するリーフレットを配布した。 平成28年成人式 開催日：平成28年1月3日(日) 会 場：米子コンベンションセンター 参加者数：1,129名</p> <p>【人権政策課】 「社会を明るくする運動」において、少年育成野球大会を開催した。</p>	B	<p>少年育成センターや青少年育成米子市民会議では関係機関と連携して様々な活動を行い、次代を担う子どもたちの健全育成の取り組みを進めた。</p> <p>子ども会では、子どもを対象とする研修とともに、育成者に対する研修で子どもの健全な成長を支える役割の認識を促した。</p> <p>成人式では、実行委員の募集に当たって男女共同参画の観点から男女構成に偏りがないうように配慮したが、女性からの応募がなく、男性のみの構成となった。</p>
			A	<p>計画どおり実施し、スポーツを通して少年の健全育成を図った。</p>

基本テーマⅠ 男女共同参画推進のための啓発、意識改革、体制強化

重点目標2 次代を担う子どもたちの生きる力を育てる教育現場等での取組

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
<p>6 教職員等研修の充実及びPTA等における研修</p>	<p>○学校教職員は男女共同参画に関する研修を受講し、指導者としての意識を高める                      ○保育所等の職員・教員、PTAは人権保育研修や男女共同参画に関する研修等を受講する                      ○各学校PTA・校区内のPTAが連携し、合同人権教育研修会や人権講演会を開催する                      ○人権教育参観日を開催し、子どもと保護者が共に人権に関する学習をする                      ○小・中学校において、保護者等を対象にPTA子育て講座を開催する</p>	<p>【学校教育課】                      ○各学校の教職員対象の研修を行い、男女共同参画社会に向けての学習の指導者としての意識向上を図っている。                      ・小中特支人権教育研修講座/1回/11名                      講師 米子市人権教育推進員 黒田昌幸氏                      ○人権教育参観日での授業や懇談会などを通して、親子で人権について学ぶ機会を設けている。                      ・各学校における人権教育参観日の実施/35校</p>	A	<p>研修を通して、教職員の男女共同参画に対する意識を高めることができた。</p>
		<p>【人権政策課】                      ○全小・中学校PTAを対象とした人権教育研修会を開催した。全3回                      ○米子市人権・同和教育推進協議会の就学前部会における人権講演会                      ・保育園、幼稚園の保護者を対象とした講演会 1回開催 86名                      ・保育士、幼稚園職員を対象とした講演会 2回開催 156名                      ○希望する保育園・幼稚園等に人権教育推進員を派遣し、職員・PTAに対して人権研修を行なった。                      ○学校・地域・PTAが連携し、各校区内における合同研修会を開催した。                      3中学校区(東山、後藤ヶ丘、弓ヶ浜) 校区内の保・幼・小・中学校が参加                      ○各校における人権啓発誌での男女共同参画に関する記事の掲載                      6校                      ○小中特別支援学校の教職員を対象とした人権教育研修講座を開催した。                      1回11名</p>	A	<p>学校、保育園等と連携して研修会等を開催し、教職員や保護者等の意識啓発を図った。</p>
		<p>【こども未来課】                      ○米子市人権・同和教育推進協議会、就学前教育部会において講演会を実施                      (保護者対象 年1回 職員対象 年2回)                      ○職員研修への参加                      ・人権尊重社会を実現する鳥取県集会                      ・米子市人権・同和教育研究集会                      ・全国人権保育研究集会                      ・各中学校区人権・同和教育研究会における講演会                      ・各中学校区単位での講演会 等</p>	A	<p>米子市人権・同和教育推進協議会を通して、各中学校区での幼保小中の連携を連携を取っている(総会、講演会、担当者会、研修会等)事により、地域での繋がり、縦の連携が定着しつつあり、人権感覚の育成等にも繋がっている。</p>
		<p>【生涯学習課】                      各学校のPTAと連携し、参観日などの保護者が集う機会を利用して、就学前や思春期の子育てに関する家庭教育講座「PTA子育て講座」を実施した。                      平成27年度は市内小中養護学校のうち希望校16校で開催した。</p>	B	<p>健全な子どもの心と体の育成のため、今後も保護者や地域住民に対し、必要な情報を発信していく必要がある。</p>



基本テーマⅠ 男女共同参画推進のための啓発、意識改革、体制強化

重点目標3 政策・方針決定の場における男女共同参画の推進

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
7	審議会、委員会等での参画	<p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○米子市男女共同参画推進審議会においては、女性7名、男性6名となっており、会長・副会長は共に女性委員。</li> <li>○米子市女性人材バンクについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年3月末現在の登録者数 52名</li> <li>そのうち講師等へ依頼 2回、審議会等委員へ推薦 8名</li> <li>・第5回しゃべって未来やにおいて、女性人材バンク登録者研修を実施した。</li> </ul> </li> </ul> <p>【職員課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成27年4月1日現在の組織・委員データを各審議会等所管課から収集し、管理している。また、同年10月15日付け職員課長通知にて、各審議会等所属長宛に基準の遵守の徹底について通知するとともに「女性人材バンク」の活用、女性委員のリストを掲載した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※27.4.1現在・・・33.9%</li> <li>※26.4.1現在・・・32.0%</li> <li>※25.4.1現在・・・31.6%</li> </ul> </li> </ul>	A	米子市男女共同参画推進審議会においては、女性の登用が半数以上となっている。女性人材バンクについては、講師等への依頼、審議会等委員へ推薦を行うことで、人材バンク登録者の有効な利用促進を図った。女性人材バンク研修会においては、女性活躍の必要性について学習することができた。
8	様々な分野での参画の推進	<p>【生涯学習課】</p> <p>米子市連合婦人会が主催する米子市女性大会への後援や各種会議への出席等を通じて、女性団体の活動の支援を行った。</p> <p>米子市女性大会 平成27年11月22日 講演 「国際平和に女性の力を」 主催 米子市連合婦人会 後援 米子市・米子市教育委員会</p> <p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のパワーアップ講座開催(3回) <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 平成27年11月20日、11月28日、12月4日</li> <li>講師 岡本美穂氏(ヨガ&amp;ナチュラルクッキングはすの実代表)</li> <li>テーマ からだの中から「健康美人」になる ～からだ本来の力を取り戻し整える～</li> <li>参加者 第1回(50人) 第2回(38人) 第3回(32人)</li> </ul> </li> <li>○鳥取県男女共同参画センターよりん彩や県産業人材育成センター等の人材育成事業に関する募集案内やパンフレット等を米子市男女共同参画センターに配置して周知を図った。</li> </ul>	A	女性団体の活動を支援することで、様々な分野における女性の活躍が推進された。
9	推進体制の充実	<p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○米子市男女共同参画推進計画の実施状況の進行管理と施策の評価、達成度の検証を行う</li> <li>○米子市男女共同参画推進審議会を実施状況を報告し審議を受ける</li> <li>○米子市人権施策推進会議で毎年の実施状況を審議する</li> <li>○計画の施策の評価において、参考指標の目標到達度を検証する</li> </ul> <p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計画の施策の実施状況を調査し、その達成度について各施策ごとにA～Dの4段階で評価付けを行い、達成度の検証を行った。</li> <li>○米子市男女共同参画推進審議会を開催し、計画の施策の実施状況について審議を受けた。</li> <li>○米子市男女共同参画推進審議会で審議された計画の施策の実施状況を米子市人権施策推進会議で審議した後、米子市ホームページに掲載した。</li> </ul>	A	施策の実施状況の評価を行い、結果を米子市ホームページに公表した。担当課に具体的にA～Dの評価をしてもらうことで、それぞれの施策に対する評価とその理由が明確になった。また、米子市男女共同参画推進審議会を開催し、計画における施策の実施状況を審議して、その結果を人権施策推進会議に報告することで、全庁的な課題の共有化ができた。

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 様々な人権に配慮して、皆が安心して暮らせる社会づくり

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
10	高年齢社会、介護問題に関する取組	<p>【長寿社会課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族全体で介護問題や認知症を理解するよう啓発等を行なった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催 57回 受講者数 2,116人</li> <li>・関係機関と連携した、高齢者・介護問題等に関する講座の開催</li> <li>・徘徊高齢者家族支援サービス事業の実施</li> </ul> </li> <li>○介護保険事業計画策定委員の改選(任期平成27～28年度)に関し、積極的に女性委員の登用を図った。 策定委員総数21名、内女性委員数9名、登用率43%</li> <li>○地域福祉計画策定委員の改選(任期平成26～28年)に関し、積極的に女性委員の登用を図った。 策定委員総数16名、内女性委員数7名、登用率44%</li> <li>○高齢者が要介護状態に陥らないため、各種介護予防サービス事業を行なった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度生活援助事業 利用者数 123人</li> <li>・高齢者はり・灸・マッサージ施術費助成事業 助成者数 36人</li> <li>・通所型介護予防事業 利用者数 329人</li> <li>・介護予防生活管理指導員派遣事業 利用者数 7人</li> <li>・通所型運動機能向上事業 利用者数 619人</li> </ul> </li> <li>○高齢者の心身の健康増進を図るため、趣味の講座やレクリエーション等を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味の教室(陶芸、木彫)</li> <li>・老人福祉センター事業、老人憩の家事業</li> </ul> </li> <li>○認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の権利を擁護するため、成年後見サポートセンターを運営し、成年後見制度の普及・啓発を図った。 相談件数 653件</li> <li>○民生児童委員と連携して高齢者実態調査を行い、高齢者世帯の生活・身体状況の把握に努めた。</li> <li>○高齢者の交流の場である老人クラブの活動を支援する事業を行なった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ活動助成 94クラブ</li> </ul> </li> </ul> <p>○家族全体で介護に取り組むよう意識啓発を行う また高齢者、介護問題等に関する研修会や介護教室等を開催する ○地域福祉計画、高齢者保険福祉計画、介護保険事業計画等に基づく施策と取組を行う ○各種介護予防サービスを行う ○高齢者の心身の健康増進を図るため、各種趣味の講座やレクリエーション等を開催する ○認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の権利を擁護するため、成年後見人制度の利用促進を図る ○高齢者実態調査を行い、高齢者世帯の方の生活・身体状況の把握に努める ○高齢者の交流の場である「ふれあい・いきいきサロン」や老人クラブの活動を支援する</p>	A	<p>計画に記載の各事業を着実に実施し、女性の介護負担の軽減、高齢者の心身の健康増進等目標達成に向けて効果があり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう支援することができた。</p>
		<p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「かぶりあ祭」において、センター登録団体の「認知症の人と家族の会 鳥取県支部」が団体活動内容を紹介するパネル展示を行った。また、定期的に機関紙を配布して啓発を行った。</li> <li>○センター登録団体連絡会において、認知症に関する研修会を実施した。</li> </ul>	A	<p>認知症に関する問題について啓発や学習を行うことができた。</p>

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 様々な人権に配慮して、皆が安心して暮らせる社会づくり

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等	
11	障がい者に関する支援	<p>○障がいのある人が地域で安心して暮らせるよう、障がい者福祉サービスの提供および相談支援体制の充実を図る</p> <p>○障がい者支援施設への援助および施設に入所している障がい者の生活訓練・就労訓練等を支援する</p> <p>○障がい者への理解を深める講座や手話教室などの研修会等を開催する</p> <p>○障がい者同士、また一般の人との交流を図る催し等を開催する</p> <p>○障がい者の社会参加を図り、就労の機会を提供し、「福祉の店」などの活動を支援する</p> <p>○障がいがあっても楽しみながら健康や体力づくりを図り、生きがいにもつながる各種障がい者スポーツを奨励する</p> <p>○障がい者世帯に市営住宅を優先的に提供する</p>	<p>【障がい者支援課】</p> <p>○障がいのある人が地域で安心して暮らせるよう、障がい者福祉サービスの提供および相談支援体制の充実を図った。</p> <p>延べ利用者数 1,725人 相談件数 13,777件</p> <p>○障がい者支援施設への援助および施設に入所している障がい者の生活訓練・就労訓練等を支援した。</p> <p>・就労継続支援について</p> <p>A型利用者数(障害福祉サービス内数) 163人</p> <p>B型利用者数(障害福祉サービス内数) 652人</p> <p>※A型・・・雇用契約に基づく継続的な就労</p> <p>B型・・・雇用契約は結ばない就労</p> <p>○各種障がい者スポーツ大会へ助成を行った。</p> <p>・さわやか車いすマラソン大会</p> <p>・手をつなぐスポーツ祭</p> <p>・アクアスロン皆生大会</p>	B	<p>障害福祉サービスの提供の際に必要な、サービス利用計画を作成する事業所の増加に努めた。</p> <p>就労継続支援A型及びB型の利用者が増えて、障がいのある人の社会参加が促進された。</p>
		<p>【人権政策課】</p> <p>○米子市人権・同和教育研究集会でのNPO法人の報告</p> <p>・障がいのある人もない人も安心して暮らせる町に</p> <p>○米子市人権・同和教育研究集会での意見発表</p> <p>・中学生 「妹が教えてくれること」</p> <p>・企業 「知ることから始まる障がい者の人権」</p> <p>○隣保館で障がい者による講演会を開催した。</p> <p>テーマ 「私の歩んできた道、そして、これから」</p> <p>講師 村田静也氏</p>		A	<p>障がい者への理解を深める講座・研修会の開催により、市民や職員の意識啓発を図った。</p>
		<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○「かぶりあ祭」において、米子市男女共同参画センター登録団体の「鳥取盲ろう者友の会」が団体活動内容を紹介するパネル展示を行った。</p> <p>○米子市男女共同参画センター登録団体の「発達障がい児親の会」が親同士の情報交換や交流の場としてかぶりあを活用している。</p>	<p>【建築住宅課】</p> <p>障がい者世帯または高齢者世帯が優先入居できるよう市営住宅の中から特定住居を指定し、供給した。</p> <p>27年度実施 4戸</p>	B	<p>鳥取盲ろう者友の会が活動内容を周知することにより、盲ろう者に対する理解を一般に広めることができた。</p> <p>また、発達障がい児を持つ保護者の交流の場としてセンターが利用されることにより、他のセンター登録団体がその活動等への理解を深めることが期待される。</p> <p>障がい者世帯の生活の安定を図ることができた。</p>

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 様々な人権に配慮して、皆が安心して暮らせる社会づくり

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
12 外国人居住者への支援	<p>○市役所窓口や小学校等で国際交流員等が通訳支援などを行う</p> <p>○広く外国人の生活一般相談や日本語教室等を行っている、(財)鳥取県国際交流財団の紹介、情報提供等を行う</p> <p>○外国人が安心して在住できるよう防災面等での支援を行う</p> <p>○隣保館等で識字・日本語教室や生活相談を行う</p> <p>○人権教育推進員等支援員が学校で外国人生徒への学習支援を行う</p> <p>○母子健康手帳の外国語版を発行する</p> <p>○外国人無年金者に対して高齢者特別給付金を支給する</p>	<p>【市民自治推進課】</p> <p>各課が生活相談等を受ける際に、国際交流員が通訳支援を行っている。なお(公財)鳥取県国際交流財団では、中国語の相談窓口を米子コンベンションセンター内に、英語の相談窓口を鳥取市の本部内にそれぞれ設置し、事前予約制でコーディネーターが生活一般の相談を受けている。</p>	B	今後も各課から要望があれば対応する。
		<p>【人権政策課】</p> <p>○(財)鳥取県国際交流財団に関する情報について、カウンターにリーフレットを設置して、周知した。</p> <p>○隣保館事業の中で、結婚、就職などで米子市に住むようになった外国人が、一日でも早く日本の生活に慣れるために、日本語教室を行なっている。その際に、困りごとなどの相談も併せて行なっている。</p> <p>○隣保館において、外国の料理教室を通して、外国にルーツのある方との異文化交流を行なった。</p> <p>○隣保館において、外国人を講師とした講演会を開催した。 テーマ「外国人が見た日本人、日本文化」 講師 キエン氏</p> <p>○人権教育推進員1名及び外部支援員が、小・中学校において、日本語の理解が不十分な児童生徒への日本語指導を行っている。</p> <p>○学習が遅れている外国にルーツのある児童・生徒に対して、夏休みの期間に学習支援を行った。</p>	A	外国人が不安を解消して安心して居住できるよう支援することができた。
		<p>【防災安全課】</p> <p>(財)鳥取県国際交流財団と連携して、原子力防災訓練に外国人居住者の参加を呼びかけ、12名程度の参加があった。</p>	A	防災訓練への参加によって、外国人居住者の防災意識を高めることができた。
		<p>【健康対策課】</p> <p>妊娠届出時、希望者に外国語版母子健康手帳(英語、ポルトガル語、フィリピン語、中国語、韓国語等)を発行した。 平成27年度実績 8件</p>	A	外国籍で希望された方に発行している。
		<p>【長寿社会課】</p> <p>在住外国人無年金者に対して高齢者特別給付金を支給した。 受給者 4人</p>	A	生活の不安定な外国人無年金者に対して支援した。

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 様々な人権に配慮して、皆が安心して暮らせる社会づくり

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
13	ひとり親家庭への支援	<p>【こども未来課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○母子生活支援施設の運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的に困窮しているなど、支援を必要とする母子家庭に居住を提供することにより、生活の安定を図り、自立に向けての支援に努めた。</li> <li>・H25年度より心理療法士を常勤配置。心理療法を実施することにより、母子の精神の安定を図った。</li> </ul> </li> <li>○母子父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の生活、就労の相談に応じた。 H27相談受付件数 452件(うち、就労相談104件)</li> <li>○経済的な自立を図るため、母子(父子・寡婦)福祉資金の貸付を行い、ひとり親家庭の生活の安定に努めた。 H27年度相談件数 205件 H27年度申請件数 13件 【内訳】修学資金…2件 就学支度資金…5件 修業資金…4件 生活資金…2件</li> <li>○高等職業訓練促進給付金事業を実施し、ひとり親家庭の父母が資格を取得する期間の経済的負担軽減に努めた。 H27年度受給者 8名 【内訳】看護師資格取得予定…8名 H27年度修了支援給付金受給者 2名</li> <li>○ひとり親家庭等日常生活支援事業は県が米子市連合母子会に委託している事業。市では登録申請書、年1回の現況届の受付業務を行っている。ただし家庭児童相談室に市民から問合せ、確認等があった場合、相談に応じ申込み方法、事業内容の説明なども行った。</li> </ul> <p>【建築住宅課】</p> <p>ひとり親世帯が優先入居できるよう市営住宅の中から特定住居を指定し、供給した。 27年度実施 1戸</p>	B	<p>母子生活支援施設の利用は、近年常時満室の状況であり、利用のニーズは高いと思われる。</p> <p>ひとり親家庭の保護者が、就労・家事・育児の両立ができるよう、さまざまな情報提供等を行ない、必要に応じて関係機関に繋ぐ等の支援を行うことができた。</p> <p>ひとり親世帯の生活の安定を図ることができた。</p>

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標2 男女間のあらゆる暴力の根絶

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
14 DV被害者への支援及び防止啓発	<p>○市の相談窓口で専門の婦人相談員を配置し、関係機関と連携して被害者支援に努める</p> <p>○被害者家庭への住宅支援、健康保険への支援、子どもの就学支援等を行う</p> <p>○若い世代が将来被害者にも加害者にもならないよう、保育所、小・中学校、高校等で生徒や教職員への予防教育・啓発等に努める</p> <p>○DVに関する講座の開催等や男女の人権尊重に関する市民意識啓発を行う</p> <p>○県や関係団体が開催する各種研修会等へ参加し、関係機関との情報交換等を行う</p> <p>○DV加害者に対して相談窓口の紹介等を行う</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>○家庭児童相談室に専任の婦人相談員を配置し、DV被害者の早期発見・支援及び児童虐待の早期発見・防止を図った。 H27年度婦人相談件数…566件(うちDV被害者からの相談186件)</p> <p>○婦人相談員が鳥取県DV予防啓発支援員に登録し、鳥取県主催の高校生に対するデートDV学習にファシリテーターとして予防教育・啓発に努めた。 H27年度デートDV学習ファシリテーターとしての参加校数…6校</p> <p>○窓口でDV防止・啓発ポスター、チラシの設置、庁舎女子トイレ個室に相談窓口の掲示、鳥取県主催の街頭キャンペーンへの参加、鳥取県作成パネルの庁内展示の協力など、啓発に努めた。</p> <p>○婦人相談員が講師となり、人権講座でDV予防・啓発を行なった。 米子市PTA人権教育研修会、米子市役所人権問題職員研修</p> <p>○鳥取県等が主催する各種研修会等へ婦人相談員等が参加し、関係機関との情報交換を行なった。 H27年度研修会・連絡会参加回数…9回</p>	B	<p>相談者1人あたりの相談回数が増加しており、DVに関する市民意識の向上と重篤になるまでの相談対応ができるようになってきた。</p> <p>引き続き、庁内関係各課で役割分担しながら、DVの発生を予防のための意識啓発をさらに進めていくことが必要である。</p>
		<p>【建築住宅課】</p> <p>DV被害者について保護施設等が行う保護の終了又は裁判所が命令する危険防止措置の終了後、5年を経過しない場合、単身での入居申込が可能となり、また、市営住宅の一定の募集条件のもとで、優先入居制度を設けている。 27年度1戸の募集を行った際は、申込がなかったが、一般募集で1戸の入居あり。</p>	B	DV被害者家庭への住宅支援を行うことができた。
		<p>【保険年金課】</p> <p>DV被害者が加害者の社会保険の被扶養者となっている場合などに、「医療費のお知らせ」等から受診医療機関を通じて避難先が加害者に知られてしまうことがある。そのため住民登録せずに米子に転入してきた家庭に対して、国民健康保険証を交付して支援している。 平成27年度は1世帯に交付した。</p>	A	国保の保険証を交付することで、病気の場合の保険給付を行い、被害者家族に対して支援することができた。
		<p>【学校教育課】</p> <p>○DV被害により本市に転入してきた家庭の子どもの円滑な就学を支援した。</p> <p>○学校におけるDV被害家庭、児童虐待等の発見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童に関する情報の共有 情報交換会の開催</li> <li>・学校における通告・受付体制の整備</li> <li>・教職員の意識啓発(研修会等での啓発)</li> <li>・児童相談所等との連携によるカウンセリング等の実施</li> </ul>	A	関係機関と連携しながら、適切に対処することができた。

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標2 男女間のあらゆる暴力の根絶

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
14	DV被害者への支援及び防止啓発	<p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「DV被害者のための相談機関電話番号案内サービス(DV相談ナビ)」に関する広報用携帯カードを市役所内各所および米子市男女共同参画センターに配置して、相談窓口の周知を行なった。</li> <li>○鳥取県との共催で「性暴力被害者支援」啓発キャラバンを実施した。 演題 「性暴力と被害者支援について」 講師 性暴力救援センター・大阪(SACHICO) 運営委員 谷田寿美江氏</li> <li>○鳥取県男女共同参画センター「よりん彩相談室」が開設している「オトコの相談日」のチラシおよび相談カードを配置し、DV加害者に対する相談窓口の周知を行った。</li> </ul> <p>【人権政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報センターに相談窓口の周知用カード等を設置して、情報提供に努めている。</li> <li>○隣保館講座において、DVに関する講演会を開催した。 テーマ 「高校生が学んでいるデートDVから人権について考えよう!」 講師 藤田栄子氏(鳥取県DV予防啓発支援員)</li> <li>○PTA人権教育研修会で、DVに関する研修会を開催した。 テーマ 「デートDV」～子どもが加害者にも被害者にもならないために～ 講師 高島千里氏(米子市婦人相談員、鳥取県DV予防啓発支援員)</li> </ul>	A	<p>カードを配置することにより、DV被害者に対する相談窓口の情報提供を行うことができた。</p> <p>性暴力被害の実態や被害者支援の必要性に関する啓発集会を開催することで、性暴力被害の実態などの啓発を行うことができた。</p> <p>男性の幅広い相談を受け付けるよりん彩相談室を紹介することで、DV加害者の相談への契機を提供することができた。</p>
15	セクシャル・ハラスメント対策	<p>【職員課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ハラスメント防止研修を実施し、ハラスメントについての正しい知識と理解を深めるとともに、ハラスメントのない働きやすい職場づくりを実現するための役割について学んだ。 研修実績 受講者数 50名</li> <li>○ハラスメント防止の啓發文書「STOP! ハラスメント」を発行した。 内容:女性活躍推進法が成立しました!ほか</li> </ul> <p>【男女共同参画推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働関係機関による労働相談会等のチラシや男女雇用機会均等法に関するパンフレット等を米子市男女共同参画センターに配置し情報提供を行った。</li> </ul> <p>【商工課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○男女雇用機会均等法に関するパンフレットの配布</li> <li>○鳥取労働局、鳥取県労働委員会などの相談窓口、相談会開催日などを、市報による広報、パンフレットの設置などで啓発した。</li> </ul>	A  B  B	<p>平成21年度から毎年ハラスメント防止研修を実施しており、ハラスメントについての正しい知識の習得や、ハラスメント防止のための管理監督者の役割などの理解は深まってきている。</p> <p>チラシ等の配置により、セクシャル・ハラスメントの防止を啓発することができた。</p> <p>パンフレットの配布、広報などにより啓発が図られた。</p>

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標3 男女の生涯を通じた様々な健康支援

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等	
16	男女の健康を支援する取組	<p>○健康に関する各種講座、健康づくり教室などを開催し、健康に関する啓発に努める</p> <p>○メンタルヘルス研修の開催、県・他団体主催の研修会への参加や情報提供等を行う</p> <p>○自殺予防研修を開催するなどこころの健康に関する啓発を行う</p>	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○「かぶりあ祭」において、米子市男女共同参画センター登録団体の「米子市食生活改善推進員会」が味噌汁の試飲による塩分測定を行い、食を通じた健康づくりに関する啓発を行った。</p> <p>○他団体主催の健康に関する講座等のチラシ等を米子市男女共同参画センターに配置し、情報提供を行った。</p>	B	健康に関する啓発や情報提供を行うことができた。
		<p>○健康に関する各種講座、健康づくり教室などを開催し、健康に関する啓発に努める</p> <p>○メンタルヘルス研修の開催、県・他団体主催の研修会への参加や情報提供等を行う</p> <p>○自殺予防研修を開催するなどこころの健康に関する啓発を行う</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>米子人生大学や公民館での社会教育講座(公民館大学等)の中で、健康講座を実施している。</p> <p>健康に関する社会教育講座の実施状況 公民館大学等 27公民館 38講座 人生大学 1講座 米子アカデミー4講座</p>	A	健康に関する講座は、多くの公民館で実施しており住民からの要望も高い。また人生大学や米子アカデミーにおいても実施しており、健康講座への関心は高いと考えている。
		<p>○健康に関する各種講座、健康づくり教室などを開催し、健康に関する啓発に努める</p> <p>○メンタルヘルス研修の開催、県・他団体主催の研修会への参加や情報提供等を行う</p> <p>○自殺予防研修を開催するなどこころの健康に関する啓発を行う</p>	<p>【健康対策課】</p> <p>健康に関する各種講座、健康づくり教室は、年間127回、延べ4,006人の参加があった。自殺予防研修等は、年間29回、延べ757人の参加があった。</p>	B	ふれあいの里及び各地区で開催し、健康づくりの工夫や、生活習慣改善のヒントを学ぶこころと体の健康について認識を深めることができた。
		<p>○健康に関する各種講座、健康づくり教室などを開催し、健康に関する啓発に努める</p> <p>○メンタルヘルス研修の開催、県・他団体主催の研修会への参加や情報提供等を行う</p> <p>○自殺予防研修を開催するなどこころの健康に関する啓発を行う</p>	<p>【職員課】</p> <p>○メンタルヘルス研修を実施し、セルフケアや傾聴などについて学び、心の健康を保ち、明るく活力に満ちた職場環境づくりを推進した。</p> <p>研修実績 受講者数 一般職員向け 83名 係長級以上向け 43名</p> <p>○鳥取県市町村共済組合主催のメンタルヘルス研修に参加した。</p> <p>受講者数 管理監督者向け 4名 一般職員向け 8名</p> <p>○メンタルヘルスに関する冊子を各課に配布した。</p>	A	メンタルヘルス対策については、従前から研修等に取り組んでおり、セルフケア、ラインケアの学習は進んでいる。
<p>○健康に関する各種講座、健康づくり教室などを開催し、健康に関する啓発に努める</p> <p>○メンタルヘルス研修の開催、県・他団体主催の研修会への参加や情報提供等を行う</p> <p>○自殺予防研修を開催するなどこころの健康に関する啓発を行う</p>	<p>【人権政策課】</p> <p>○「社会を明るくする運動」開始式において、講演会を開催した。</p> <p>テーマ「県内における薬物犯罪の現状」～薬物捜査の現場から～ 講師 水谷勇一氏(鳥取県警本部組織犯罪対策課)</p> <p>○「誰でも人権アカデミー」で、病気にかかわる人の人権に関する学習講座を開催した。</p> <p>テーマ「医療の場における人権」～患者、病気の子どもの権利を守る～ 講師 南前恵子氏(鳥取大学医学部教授)</p> <p>○米子市3隣保館合同で、人権講座を開催した。</p> <p>テーマ「笑顔の戦士」～生きているって幸せ～ 講師 道志真弓氏</p>	A	講演会等の開催により、心身の健康に関して市民啓発を図った。		



基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標3 男女の生涯を通じた様々な健康支援

基本施策		主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
16	男女の健康を支援する取組	○健康保持、体力増進のための各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、生涯スポーツの振興に努める	<b>【体育課】</b> ○少年スポーツ教室の開催(9種目) 参加者 404人 ○各種スポーツ大会の開催 少年野球大会、親子体力づくり大会、市民レガッタ、マラソン大会、スキー大会等 体力づくり歩け歩け大会 年12回開催 ○米子市民体育祭の開催(8種目) ソフトボール、卓球、バドミントン、バレーボール、ソフトテニス、グラウンド・ゴルフ、野球、ゲートボール	A	少年スポーツ教室には多くの参加者があり、子供の頃からスポーツに親しむ習慣づくりの一助とすることができた。 また、各種スポーツ大会等にも各年代の幅広い参加者があり、健康保持、体力増進につなげることができた。
17	妊娠・出産に関わる女性の健康支援・権利尊重	○各種妊娠健康診査に助成を行い、検査率向上に努める ○マタニティスクールを開催し、妊婦とその家族に対して妊娠・育児指導を行う ○女性特有のがんである乳がん・子宮がん検診の重要性を啓発し、経費助成等により受診率向上を図る ○中・高校生に対して子宮頸がん検診の受診を啓発し、子宮頸がんワクチンの接種に助成を行う ○不妊治療経費の一部を助成する ○成人式で新成人に子宮がんや感染症等の予防啓発チラシを配布する ○妊娠・出産及び性に関する女性の健康支援についての各種講座の開催や他団体主催の研修会への参加、また妊娠・出産・性などに関する体と健康については本人に選択・決定権があることを啓発する	<b>【健康対策課】</b> ○妊娠届出をされた妊婦に妊婦一般健康診査受診票と母子健康手帳を発行した。 ○奇数月と偶数月に内容を分けてマタニティスクールを開催、妊婦と妊婦の夫が主に受講した。 ○無料クーポン券を、乳がん検診は40歳、子宮頸がん検診は20歳の方に送付した。また、平成25年度の未受診者の方に再通知をした。 (乳がん検診受診率は33.4%、子宮頸がん検診受診率は24.7%) ○子宮頸がん予防ワクチンは平成25年度より定期接種となったが、同年6月に差し控えとなり接種勧奨は行っていない。(受診率1%未満) ○特定不妊治療費助成は、県の交付決定を受けた人に上乗せして実施した。 特定不妊治療 251件 人工受精 188件 ○成人式で新成人に子宮頸がんや感染症等の予防啓発チラシを配布した。	A	妊娠中に必要な妊婦健診について公費負担している。  産院等では行っていない、口腔ケアや沐浴体験を行っており、沐浴体験では特に夫の参加が多い。  各種啓発等により受診率は、乳がん検診、子宮頸がん検診ともに横ばいだった。  差し控え後は接種者は激減したが、希望する方は子宮頸がん予防ワクチンについて理解の上接種することができる。
			<b>【男女共同参画推進課】</b> 鳥取県が主催した性に関する健康問題ワーキングに参加した。 (内容) ・報告 鳥取県の性に関する現状と課題 など ・講演 今、10代～20代の若者を取り巻く問題、地域でできること	B	研修会に参加することにより、若者の性に関する現状や課題、それに関する地域での取組などについて学習することができた。
			<b>【生涯学習課】</b> 公民館で実施した社会教育講座のうち、人権に係る講座を28講座実施したが、その中で女性の権利尊重の視点を盛り込んだ講座を実施した。 14講座	C	人権一般に係る講座のなかでも、女性の権利に触れる講座が少なかつたため、増加させるよう働きかけたい。

基本テーマⅡ 人権に配慮し誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標3 男女の生涯を通じた様々な健康支援

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
18	<p>学校教育における保健指導、健康学習</p>	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○命と体を大切にすることを重要な視点として位置づけた「健康教育」の充実を図り、年間指導計画に基づいた学習を実施/35校             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室の開催 小学校20校 中学校9校</li> <li>・健康教育参観日(性教育参観日を含む)の実施 35校</li> </ul> </li> <li>○専門的な知識を持ったゲストティーチャー(外部講師)を招いて、より効果的な学習を推進した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よなご人権ネット」(米子市人権教育・啓発推進のための人材バンク)を活用した人材情報の提供</li> <li>・学校への医師、看護師等の協力/18校(小12校、中6校)</li> </ul> </li> <li>○児童・生徒の心の健康についての校内相談体制の充実を図る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの配置/小・中11校</li> <li>・心の教室相談員の配置/中9校</li> <li>・生徒指導推進協力員・学校相談員(非常勤職員)の配置/小3校</li> <li>・他機関(病院、児童相談所等)と連携した健康相談の実施</li> </ul> </li> </ul> <p>○学校において、命と体を大切にすることを重要な視点として位置づけた「健康教育」の充実を図り、それらの教育活動を公開することにより、性教育に関する関心を高め、よりよい教育体制をつくる</p> <p>○生活習慣病、エイズ、性感染症等の病気予防や薬物乱用防止に関する学習や取組を行う</p> <p>○学校での子どもたちの心の健康についての相談体制の充実を図る</p> <p>○子どもたちに学校給食を通じた食に関する指導を行い、また保護者に対して食育についての啓発を行う</p> <p>【学校給食課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養教諭・学校栄養職員等が子どもたちに学校給食を通じた食に関する指導や食育の指導等を行う 内容:食事のマナー、手洗いの重要性、歯と口の衛生、よく噛んで食べる、好き嫌いを解決、等</li> <li>・給食時間に行う学級訪問 (小学校305クラス、中学校139クラス)             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度 延べ 1,257回</li> <li>平成26年度 延べ 1,083回</li> <li>平成25年度 延べ 846回</li> </ul> </li> <li>・授業への参画:チームティーチング(家庭科・保健体育・学級活動等)             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度 163回</li> <li>平成26年度 108回</li> <li>平成25年度 114回</li> </ul> </li> <li>○栄養教諭・学校栄養職員等が保護者に対して、給食試食会時等に食育に関する講演会を行う(小学校23校、中学校11校)             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度 30回</li> <li>平成26年度 27回</li> <li>平成25年度 28回</li> </ul> </li> </ul>	A	<p>様々な分野のゲストティーチャーを招いて、より専門的で実感を伴った学習活動の充実を図ることができた。</p> <p>学校での、児童・生徒に対する相談支援体制の充実を図ることができた。</p> <p>学校給食を通しての食育指導により、子どもたちは健全な食生活・食習慣を身につけることができ、保護者に対しても食の重要性を啓発することができた。</p>

基本テーマⅢ 家庭、職場、地域等における男女共同参画の推進

重点目標1 家庭における男女共同参画の推進

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
19 家事・育児への男性の参画推進	<p>○公民館等で男性が参加できる料理教室等を開催する</p> <p>○マタニティスクールに男性の参加を促し、父親にも育児体験をしてもらう機会をつくる</p> <p>○父親も子どもの誕生や育ちに関心を持てるよう、妊娠届出時に母子健康手帳と併せて、父親用の記録帳も交付する</p> <p>○男性の家事・育児参画に関する講座等の開催、県や他団体主催の研修会等への参加、情報提供等を行う</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>公民館の社会教育講座の一環で「男の料理教室」等を行っている。</p> <p>「男の料理教室」 8講座</p> <p>男女共同参加の料理教室も各公民館が実施している。 16講座</p> <p>蕎麦打同好会など自主的な活動 7講座</p> <p>こども料理教室 2講座</p>	B	<p>地域の実情に応じ、男性に役立つ講座が開催されており、受講者も多く啓発の効果が期待できる。</p>
		<p>【健康対策課】</p> <p>○奇数月に、パパにもできるあかちゃんのお世話(着替えやおむつ交換、調乳、だっこなど)、妊婦体験、沐浴体験等の講座を実施した。健康ガイドやホームページ等で周知し、妊娠届出時に夫の参加も促している。</p> <p>○妊娠届出時の母子健康手帳と合わせて、お父さんのメモリーノートとしてメッセージや写真など記録を残せるものを渡している。</p>	A	<p>沐浴体験の回は夫の参加者が多い。アンケートでは、体験ができてよかったという回答が多い。</p> <p>父親用の子どもの記録帳(お父さんのメモリーノート)を交付することで、父親も子どもの誕生や育ちに関心を持つことができ、父親の意識啓発に役立っている。</p>
		<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○第3回しゃべって未来やにおいて、積極的に家事・育児に参画している講師による講座を開催した。</p> <p>テーマ Let's Enjoy 子育て ～ママもハッピー！何でもこなすマルチパパ～</p> <p>講師 杉田貴彦氏 (COLTEO Corporation 代表)</p> <p>参加人数 25人 (男性13人、女性12人)</p> <p>○「かぶりあ祭」において、男性の育児参画を実践してきた講師による、子育てに関する講演会を開催した。</p> <p>テーマ 子どもと仲良くなる3つのポイント</p> <p>講師 小崎恭弘氏 (大阪教育大学教育学部准教授)</p>	A	<p>男性が積極的に家事や育児に参画していくことで、女性が安心して働くことができるという講師の話は、参加者からも大変参考になったと好評で、男性の意識啓発に大いに役立った。</p> <p>かぶりあ祭の講演会は、男性保育士として、また自らも3人の子どもの父親として育児に関わってきた講師による話で、分かりやすかった、子育てに対する不安が消えたなどの感想もあり、有意義な内容だった。</p>

基本テーマⅢ 家庭、職場、地域等における男女共同参画の推進

重点目標1 家庭における男女共同参画の推進

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等	
20	子育て支援、保育サービスの充実	<p>【健康対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティー&amp;ベビー相談は平日の午後に、赤ちゃんすくすく相談は月1回実施している。子育て教室としては、離乳食講習会、のびのび親子教室、やんchaっ子教室等を行った。</li> <li>○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を訪問した。 訪問件数 1,379人</li> </ul>	A	<p>健康ガイドや個人通知、赤ちゃん訪問等に周知して、利用を促している。</p> <p>妊娠届出時の説明し、出生届出時に赤ちゃん健康カードを提出してもらおう等啓発に努めている。</p>	
		<p>○各種子育て教室や乳幼児相談を開催し、乳幼児の保健指導・育児相談を行う</p> <p>○乳幼児のいる家庭に保健師等が家庭訪問し、乳幼児の健康状態の確認や育児相談を受ける</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>乳幼児期の子育てに必要な情報提供や情報交換等、子育て支援を目的とした講座(タムタムスクール)を開催した。 10講座を開催し延べ381人の参加者があった。</p>	A	<p>毎年、10回の講座を開催しており、受講者の講座に対する満足度も高い。</p>
		<p>○乳幼児のいる家庭を対象に子育て・親育ち講座を開催する</p> <p>○地域子育て支援センターを運営し、子育て相談・講習会・情報交換等を行い、また子育てサークルの活動を支援する</p> <p>○ファミリー・サポート・センターでは地域で育児を助け合う体制をつくる</p> <p>○保育所等での延長保育・休日保育等の拡充に努める</p> <p>○全小学校でなかよし学級を運営し、民間施設も含めた設備・体制等の環境整備に努める</p>	<p>【こども未来課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援センターを5箇所を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報等により支援センターの周知を図り、利用者数の増加に努めた。</li> <li>・月1回の子育て講座の実施、支援センター内や公民館等で子育てサークルの支援に努め、「親子遊びの提供・子育て相談・子育て情報の提供」等を行った。</li> <li>・「発達の気になる子」や「家庭支援の必要なケース」については、「健康対策課」や「家庭児童相談室」と連携し支援に努めた。</li> </ul> </li> <li>○ファミリー・サポート・センター事業を継続して実施。 広報よなご、中海テレビよなご3ch等により事業の周知を図り、会員数や活動件数の増加に努めた。 平成27年度活動件数…2,642件 (26年度 2,625件) 平成27年度末会員数…1,108人 (26年度 1,128人)</li> <li>○特別保育の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日保育…4箇所を実施(よなごっこ未来応援プラン目標数値4箇所)</li> <li>・延長保育…34箇所を実施(同 目標数値26箇所)</li> <li>・病児・病後児保育…3箇所を実施(同 目標数値2箇所)</li> </ul> </li> <li>○学童保育…市内23全小学校に「なかよし学級」を設置(同 目標数値23箇所) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全23小学校の「なかよし学級」の開級時間を30分延長し、午後6時30分までとした。</li> <li>・公設以外の民間放課後児童クラブへの助成 …16クラブ</li> </ul> </li> </ul>	B	<p>支援センターの利用者数については近年変化はないが、活動が充実し多くの利用者に喜んでもらっている。</p> <p>ファミリー・サポート・センターについて、広報等で周知することにより、育児支援のための活動件数の増加に努めた。</p> <p>保育所等での延長保育等については、よなごっこ未来応援プランの目標数値を達成しているが、今後ともニーズに応じたサービスの提供が課題である。</p> <p>開級時間の延長により、利用者ニーズに就けることができた。</p> <p>平成23年度より市内で放課後児童クラブを実施する法人又は個人に運営費を助成することにより、放課後児童クラブ数の増につながり、待機児童の解消の促進をはかることができた。</p>

基本テーマⅢ 家庭、職場、地域等における男女共同参画の推進

重点目標2 職場における男女共同参画の推進

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等	
21	ワーク・ライフ・バランスの啓発	<p>○ワーク・ライフ・バランスに関する講座等の開催、県や他団体主催の研修会等への参加、各種情報提供を行う</p> <p>○鳥取県男女共同参画推進企業認定制度の周知・啓発を行う</p> <p>○市内の企業・事業所に対して、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発を図る</p> <p>○関係機関と連携し、労働に関する相談会等の周知、情報提供等を行う</p>	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センターが主催する講演会に参加した。</p> <p>(内容) 「女性が考える“女性が活躍する社会”とは」(パネルディスカッション)</p> <p>○レディース中央会全国フォーラム in しまねに参加した。</p> <p>(内容) 「イクボス推進による人材力生産性の向上」他</p> <p>○鳥取県経済同友会西部地区と鳥取県男女共同参画センターが共同で開催した働く女性を応援する講演会の情報提供をし、参加した。</p> <p>テーマ 今こそ、ワーキングウーマンへ伝えたいこと 講師 尼崎市長 稲村和美氏</p> <p>○労働関係機関による労働相談会やワーク・ライフ・バランスの啓発に関するチラシ等を米子市男女共同参画センターに配置し、情報提供を行った。</p> <p>○鳥取県男女共同参画推進企業認定制度のチラシを米子市男女共同参画センターに配置し、制度の周知・啓発を行った。</p>	A	<p>講演会では、仕事と家庭の両立が困難といえる状況で、女性が社会に参画し活躍するために必要なことやイクボスを推進することの重要性などを考えるきっかけとすることができた。</p> <p>チラシ等の配置により、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発、情報提供を図ることができた。</p>
		<p>【人権政策課】</p> <p>○情報センターに、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発ビデオを配置し貸出している。</p> <p>○米子市人権問題企業連絡会を組織し、様々な人権課題に関する研修等を行い、社員の意識啓発を図った。</p> <p>○希望する企業等に人権教育推進員を派遣し、人権問題等の講演や指導を行なった。 延べ21回</p>	A	市内の企業・事業所に対して、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発を図った。	
		<p>【職員課】</p> <p>「親子参観日」の開催</p> <p>目的:「ワーク・ライフ・バランス」の観点から、親の職場に対する子どもの理解を深め、親子で話し合う機会をもってもらおう。</p> <p>開催日:平成27年8月6日</p> <p>参加人数:7名(小学2年生～6年生)</p>	B	ワーク・ライフ・バランスに関する意識を深めるため、子どもが親の職場を体験することで、親子がより一層理解し合え有意義な時間を過ごすことができた。	
		<p>【商工課】</p> <p>関係機関が実施する労働相談会の開催や両立支援助成金等について、チラシ・パンフレットを設置などで啓発した。</p>	B	パンフレットの配布により啓発が図られた。	

基本テーマⅢ 家庭、職場、地域等における男女共同参画の推進

重点目標2 職場における男女共同参画の推進

基本施策	主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
22	男性の育児休業取得推進	<p>【商工課】 母子手帳交付時に育児休業法のパンフレットを配布して啓発した。</p> <p>【男女共同参画推進課】 育児休業法、介護休業法に関するパンフレットや県の育児休業取得に係る助成制度のチラシ等を米子市男女共同参画センターに設置し、情報提供を行った。</p> <p>【職員課】 ○次世代育成支援ニュース「子育て一緒にショイヤ！」を発行 男性が育児等で取得できる休暇について説明を行う ○妻が出産した男性職員に対し、「妻の出産休暇」及び「子の養育休暇」について制度の説明を行うとともに、育児休業制度、部分休業制度の説明を行う。 ※育児休業取得率 (平成27年度中に配偶者が出産した職員に占める育児休業取得者数) 平成27年度 27.3% 11名中3名</p>	B	<p>パンフレットの配布により啓発が図られた。</p> <p>パンフレットやチラシ等を配置することにより、育児・介護休業法や各種助成制度に関する情報提供を図ることができた。</p> <p>第2期特定事業主行動計画の平成26年度実施状況を公表し、計画に掲げる各行動を促進するとともに、仕事と子育ての両立を図ることができる職場の雰囲気醸成を啓発した。</p> <p>第3期特定事業主行動計画を策定した。</p> <p>男性の育休については、更なる取得率の向上を目指し、引き続き啓発に努めることとする。</p>
23	女性の農・商業等自営業における参画及び起業、再就職支援	<p>【農林課】 ○新規就農1戸の農家が家族経営協定を締結した。 ○女性自主参画事業について、女性団体及び指導農業士にパンフレットと申請書類を送付した。また、米子市ホームページに募集記事を掲載し、周知を図った。 ○農産物等の加工・直売活動をしている女性グループへの活動支援(いきいき直売支援事業)については、平成27年度において1件申請があり、実施した。</p> <p>【商工課】 ○関係機関が実施する再就職、職業訓練、人材育成などに関するパンフレットなどを設置して啓発した。 ○ポジティブ・アクションについて、リーフレットを設置して啓発した。 ○関係機関が設置した「レディース仕事プラザ」について、市報による広報、パンフレットなどを設置して啓発した。 ○関係機関が実施する女性のための創業セミナーのパンフレットなどを設置して啓発した。</p> <p>【男女共同参画推進課】 ○第2回しゃべって未来やにおいて、女性起業家を講師とした講座を開催した。 テーマ 米子を元気にしたい がんばる女性起業家 ～自分流で働きたい人のための仕事術～ 講師 杉田真理子氏(株式会社スカイ代表) 参加人数 31人 ○鳥取県が主催する再就職を支援するセミナーや職業訓練等に関するチラシを米子市男女共同参画センターに配置し、情報提供を行った。</p>	B	<p>各関係機関と連携して家族経営協定及び女性自主参画事業の促進を図った。女性農業者の役割を適切に評価し、共同経営者として位置付けることができた。</p> <p>農産物等の加工・直売活動を支援する「いきいき直売支援事業」について、今後も周知を図っていく。</p> <p>パンフレットの配布、広報などにより啓発が図られた。</p> <p>女性起業家の実体験を交えた講演は、参加者にも大変参考になったと好評であった。</p> <p>チラシの配置により、再就職等を目指す女性に対する情報提供を図ることができた。</p>

基本テーマⅢ 家庭、職場、地域等における男女共同参画の推進

重点目標3 地域の様々な分野における男女共同参画の推進

基本施策		主な事業・取組	平成27年度実施状況	評価	事業の成果、評価の説明等
24	地域活動・まちづくり等における参画	<p>○米子市自治連合会と連携・協力し、地域のまちづくりを推進するとともに、自治会加入率を高めるための啓発を行う</p> <p>○地域の多くの人々が様々なまちづくり活動に積極的に取り組めるように、まちづくり活動支援事業を実施する</p> <p>○環境問題等の社会問題解決に向けた地域活動について、男女が参加・協力して環境問題に関する啓発や情報発信を行う</p> <p>○子どもたちが地域社会や環境問題等について学ぶ学習活動の場を提供する</p>	<p>【市民自治推進課】</p> <p>○男女共同参画と自治会運営に関する項目を載せた「自治会加入促進の手引き」を平成27年度版として改訂し、422自治会長に配布して意識啓発を促した。</p> <p>○市民の自主的な活動を支援する米子市まちづくり活動支援交付金事業を実施し、5団体に対して支援を行った。なお、この事業の審査委員会の男女比構成は4:4となっている。</p>	B	自治会活動において、男女共同参画推進の効果が期待される。
			<p>【環境政策課】</p> <p>○家庭から水環境を考えるため、生活排水対策講習会を男女が参加する取り組みとして行った。</p> <p>○「環境フェスタ」において、各女性環境団体参加のもと環境問題に関する情報の提供や交流の場の提供等を行った。</p> <p>○小学生を対象とした、こどもエコクラブ活動に、女性6名を含むボランティアのサポーター14人の協力を得て、小学生に対する環境学習を推進した。</p>	A	男女が共に地域で環境問題を考えることができた。 また、子どもたちが環境について楽しみながら学習する場を提供することで、小さいうちから環境問題に関心を持つことが出来るよう啓発することができた。
			<p>【環境事業課】</p> <p>リサイクル推進員として、地域でのごみ減量、分別等について啓発・指導活動に協力をいただいた。女性の推進員は全体の約20%となっている。</p> <p style="text-align: center;">リサイクル推進員            680人（男性546人    女性134人） リサイクル推進員補助者    101人（男性 78人    女性 23人）</p>	A	まだ女性の人数は少ないが、男女協力して地域の環境啓発を行うことができた。
25	防災・復興分野における参画	<p>○米子市地域防災計画、避難所運営マニュアル等に男女共同参画の視点を盛り込む</p> <p>○地区の自主防災組織を育成・支援し、女性の積極的参加を促進する</p> <p>○消防団への女性の参加を促進し、活動を支援する</p> <p>○女性、乳幼児、高齢者など様々な視点での必要物資を備蓄する</p> <p>○防災分野への女性の参画の必要性を啓発し、また県や他団体主催の研修会等への参加、情報提供等を行う</p>	<p>【防災安全課】</p> <p>○公民館単位、自治会単位で開催された防災説明会等で、自主防災組織の重要性や、防災分野への女性の参画の必要性を啓発した。 平成27年度開催の説明会及び講演会 82回</p> <p>○消防団における女性の活躍を推進した。 ・米子市消防団女性分団員21名(定員22名) ・防火週間中の防火啓発活動 ・事業所、会社などにおける救急救命講習での講師 ・米子市消防団救急救命訓練における講師</p> <p>○女性、乳幼児、高齢者など様々な視点での必要物資を備蓄した。 ・紙おむつ(新生児、子供用、大人用)、生理用品、粉ミルク(乳幼児、フォローアップ用、アレルギー児用)、哺乳瓶、プライバシーシート等を備蓄した。 ・新たにアレルギー物質を除いた炊き出し用ごはんを購入した。</p> <p>○米子市防災会議の委員として女性3名が地域防災計画の修正等に参画した。</p>	A	講演会等での広報や消防団における女性の活躍の推進に見られるように、防災分野において、女性の活躍が広がっており、男女共同参画推進に一定の効果が上がった。
			<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>「かぷりあ祭」において、米子市男女共同参画センター登録団体の「さよなら島根原発ネットワーク」が『弱者から見た避難計画』という表題での発表を行い、防災分野への意識啓発を図った。</p>	B	災害弱者の視点から災害発生時の避難計画を考えるという内容の発表は、防災計画に関心を持ち考えるきっかけとなるとともに、今後の啓発の参考とすることができた。